

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	身体拘束適正化に関する研修において、虐待防止に関する研修テーマが混在していることから、2つを区分した研修を行うことに期待したい。	身体拘束適正化研修について、研修内容が明確になるよう研修計画及び実施に取り組む。	事業所の身体拘束適正化検討会において、身体拘束における必要な研修会をスタッフで検討し、事業所内研修の継続、また外部研修への派遣を継続していく。	3ヶ月
2	10 (7)	コロナ禍の影響で家族との関係が希薄となっていたことは否めないため、家族からの意見や意向を積極的に吸収するため、家族に向けた満足度調査(アンケート)を行い運営の反映に努めて欲しい。	家族からの意見や要望等を取り入れ、事業所運営の反映及び入居者、家族の満足度へ繋げていく。	家族からの意見等を取り入れるため、満足度調査(アンケート)を実施する。必要に応じて意見内容を所定の場所に掲示する。	3ヶ月
3	35 (16)	事業所における災害を想定した訓練の実施が必要なため、次につながる訓練の実施が望まれる。	災害時において、入居者、職員が安全に避難できる方法を身につける。	災害(火災)時における消防車両の到着時間も想定しながらの訓練計画など、より実践に近い訓練を実施し、訓練後の評価についてもスタッフでしっかり共有していく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。